



# 消防団通信

第12号  
発行：令和3年11月  
胎内市消防団予防部

発行責任元 胎内市総務課防災対策係 Tel 0254-43-6111(内線 1311)



(土のう作成)



(方面隊実践訓練)



(ポンプ操作確認訓練)

## 【主な活動内容】

- 令和3年度は、コロナウイルスの感染拡大防止のため、ポンプ操法競技大会、秋季総合演習等中止といたしました。(会場を分散し、6月に方面隊訓練、10月にポンプ操作確認訓練を実施。)
- 8月には、広い会場でマスク着用のうえ、十分な換気を行いながら新入団員講習会・規律訓練を開催。新入団員が消防団の基礎知識及び基本動作を学びました。
- 市で保管している水害時に使用する「土のう」の作成を2回実施し、約1,050個の土のうを作成  
5月30日(日) 早朝6時より、本部員、乙方面隊26名参加し、約500個土のうを作成。  
7月31日(日) 早朝6時より、本部員、築地方面隊32名参加し、約550個土のうを作成。

令和3年1月から令和3年10月末までの消防団員火災出動件数4件(昨年5件)



胎内市消防団長 宮嶋 等

市民の皆様には、日ごろから消防団活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度も、令和2年度に引き続き、コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していましたポンプ操法競技会、秋季総合演習等は中止とし、新入団員の講習会・規律訓練、各方面隊実践訓練、ポンプ操作確認訓練を、感染症対策(会場を分散)を取りながら実施しました。

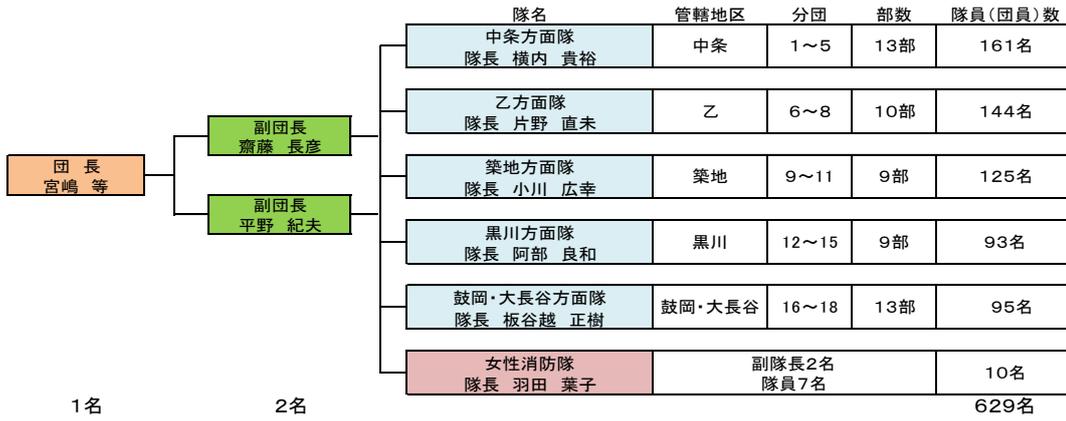
また、部の再編、統合について会議を行い、来年度の体制(案)を作成。これから次年度以降のポンプ操法大会のあり方、年間行事の縮小、実践訓練の充実等の検討・見直しを進めています。今後も、消防団員の処遇改善をはかり、防災力の低下とならないよう団員確保に努めてまいります。

今年の一月から十月末日までの消防団火災出動件数は4件で、昨年より一件の減となっておりますが、これからの季節は暖房器具を使用する機会が増えますので、火の取扱いは十分注意していただきたいと思っております。

水害対策として、「土のう」作成を2回実施し、延べ一〇五〇個の「土のう」を作成しました。各地区の「土のう」保管庫への運搬作業も行い「土のう」の分散配備を進めました。引き続き、消防団では、市で保管する「土のう」の作成及び、地域の「土のう」設置・撤去に協力し、地域防災力の向上に努めていきます。

今後も実際の火災を想定した実践訓練や浸水被害を想定した水防訓練など各種訓練や火災予防等に努め、市民の皆様の安全と安心に寄与できるように取り組んでまいりますので、引き続き、消防団活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 消防団構成 (R3. 4. 1 現在)



階級別 団員数	
団長	1名
副団長	2名
方面隊長	5名
分団長	18名
副分団長	18名
部長・女性消防隊長	50名
班長・女性消防副隊長	100名
団員・女性消防隊員	438名
計	632名
消防団員定数	680名

## 令和4年4月 消防団処遇の改善予定

- 組織再編 (統合) 現在: 5 方面隊 - 18 分団 - 49 部 ⇒ 再編後: 4 方面隊 - 13 分団 - 29 部
- 定数の見直し 現在: 基本団員 660 名・機能別団員 20 名 ⇒ 基本団員 630 名・機能別団員 20 名
- 報酬の見直し 年額報酬: 全階級増額で検討中 出動報酬: 1 時間毎に 1,000 円の予定
- 費用弁償の見直し 出動手当: 交通費等実費分として 1 回 500 円の予定
- 装備の充実 救助用ボート、耐切創性保護衣 (チェーンソー等使用時に着用) の購入
- 消防団活動の見直し 操法大会・行事・訓練等の見直し

## R4年度 組織図(案)

